

みみつ中央通信

「あなたの夢はなんですか？」
と少女に聞いてみた。少女はニコニコしながら答えた。
「私の夢は大人になるまで生きることです。」

かつてフィリピン首都マニラのトンド地区に、スモークーマウンテンという場所の広大なゴミ捨て場があった。そこでビンやスクラップなどのゴミを拾って、リサイクル業者に売って暮らしを支えている子ども達がいる。一心不乱に生きるためにゴミを拾う。その姿は必死で戦っているように見える。その中にいた一人の少女。足の先から頭のとっぺんまで真っ黒に汚れ、ボロボロのシャツを着ていた。瞳がキラキラと輝き、可愛い笑顔が印象的だった少女。その子の夢が、「大人

私の夢は大人になるまで生きること

になるまで生きること」である。
この話は、アジアの貧困地域を訪ねて子ども達を支援する活動を続けている池間哲郎氏の本に書かれている。池間氏は友人から

「何のためにそのような活動をしているのか」と聞かれ、

「見てしまったから。知ってしまったから」と率直に答えるそうである。しかし時には

ゴミの山で生きる人々、マンホールの中で暮らす子ども、貧しさゆえに親から引き離された子ども達……、そんな多くの悲しみを、見なければよかった、知らなければよかったと思うこともあるそうだ。毎日、当たり前のように生活して暮らしている私たちは、いつの間にか、本当に大切なものを忘れてしまったのではない

だろうか。

日本では、ここ数年、そして今年も全国で自然災害による被害が発生した。まさか、自分の所はと誰もが思っているが、被害が出ていることは事実として受け入れるしかない。そんな時、必ず助けしてくれるボランティアがいる。全国から少しでも役に立とうと被災地にやってくる。その姿に涙している地域の方もいる。困っている人を助けたくなるのは、人として自然で当たり前のことだと信じているものだ。



校長
鈴木利明

って行っていることは答えられるが、その他はと聞くと出てこないのが現状である。池間さんは、ボランティアには大事なことが三つあると言っている。

一つ目は「理解すること」で現実をわかって、知ると言うことがとても大切なボランティアになると言っている。お金が無いために、ミルクや菓が買えず亡くなっている子どもがいるという事実を理解することが大事だと言っている。

二つ目は「少しだけ分けてください」ということ。これは、100%の愛では無く0.1%だけでいいということだ。誤解しないで欲しいのは、世界で貧困で苦しんでいる子ども達も、かわいそうだから助けて欲しいと言っているのではない。この

ような問題に心を傾けるといいうことで、あなたの優しい心を少しでも傾けるから、一生懸命に生きようとしてくれる子ども達に分けて欲しいと言っていることである。

三つ目が一番大切にしていることで「自分自身が一生懸命に生きること」である。どんな環境の中でも一生懸命に必死になつて生きていけると、人として大事にしたくなると言っている。

私たちの生活は、恵まれた環境の中で幸せを感じている。そんな豊かさの中にあるからこそ「命の尊さ」や「生きることの大切さ」を見失わないで欲しい。貧しくてもキラキラ光る子ども達から真剣に生きる大切さを学んでほしい。

「あなたの夢は何ですか？」
と自分の心に聞いてみた。まだまだ、一生懸命さが足りないことを痛感した。

県立高校説明会

令和元年9月20日



【日向高等学校】



【日向工業高等学校】



【富島高等学校】



【門川高等学校】

本年度から、従来通りのスタイルを変えて高校説明会を実施しました。昨年度までは、高校の先生が、2、3年生に向けて1回だけ説明をすれば良かったのですが、本年度から、全校生徒を4つのグループに分けて、少人数で説明を聞くことにしました。つまり、高校の先生は同じことを4回話すこととなります。メリットは、少人数で聞けるので、緊張感があり、説明される高校側からも、説明する生徒の距離が近いので親近感があるということです。子ども達の様子は、聞く姿勢も良く、メモをとる生徒も多く見られ、高校の先生方からもとても良い評価をいただきました。

私は県立高校説明会で、どこの高校も共通だなと思ったのは、文武両道が出来ること、進学・就職先がどちらも幅広い範囲であり、進学率・就職率が高いところです。また、部活動も盛んで遠い中学校から来ている人もいるのでお互いに高め合えるのが魅力だと思いました。ただ、4つの高校にすべてに努力がないと進学も就職もないので、今のうちから、しっかり努力していきます。どこも、楽しそうな行事もあり、学べることもたくさんあるので、どこに行っても、しっかり頑張ります。そのために、今日から勉強に力を入れます。

【生徒の感想より】

体育大会 結団式



今年の体育大会は、10月27日（日）に実施します。子ども達が決めたスローガンは「新伝説へ～進化は止まらない」です。令和元年にふさわしい、素敵なテーマになりました。赤団団長：泉友貴くん、青団団長：安藤希空くんを中心に、新しい伝説が生まれることを期待しています。そして、その体育大会を運営する黒木ひよりさんをはじめとする4名の実行委員会の力も重要です。全力で楽しんでください。

結団式の時には、3つの準備が必要だと話をしました。自分の準備、団の準備、そして学校の準備です。準備を本気でやっていると本当の壁にぶち当たります。そんな時こそ、自分が試されるチャンスです。大切な仲間と共に最高の体育大会を完成させましょう。感動というフィナーレが待っています。

トイレ清掃に学ぶ（旭建設）

27日（金）に旭建設の方17名に来校していただき、トイレ清掃を指導していただきました。全校生徒でトイレを掃除する取り組みは4年目になりました。毎日使っているトイレをきれいにすることは、自分磨きにもなります。1年生は初めての体験だったので、はじめはやりにくそうでしたが、慣れてくるときれいになっていくのが分かるので、楽しそうに磨いていました。これも、トレイに感謝し思いやりをもって、きれいにする挑戦です。また1つ、大人に近づいたような気がします。



.....熱中症対策として、体育大会を10月の下旬に変更しました。保護者や地域の皆様には、一年間の計画を変更することになり、御迷惑をおかけしたことをおわび申し上げます。そして、今、世の中は、令和になり時代の流れと共に変わらなければならない時が来ているのかもしれないかもしれません。人として変わってはいけないものを残しつつ、新しいことも大事にしたいものです。

校長：鈴木利明